

摂津市議会

建設常任委員会記録

平成28年4月14日

摂津市議会

目 次

建設常任委員会

4月14日

会議日時、場所、出席委員、説明のため出席した者、出席した議会事務局 職員、審査案件-----	1
開会の宣告-----	2
委員会記録署名委員の指名-----	2
所管事務調査について-----	2
閉会の宣告-----	2

建設常任委員会記録

1. 会議日時

平成28年4月14日(木) 午後1時 開会
午後1時9分 閉会

1. 場所

第二委員会室

1. 出席委員

委員長 野原 修 副委員長 藤浦雅彦 委員 木村勝彦
委員 中川嘉彦 委員 弘 豊

1. 欠席委員

なし

1. 説明のため出席した者

なし

1. 出席した議会事務局職員

事務局参事兼局次長 橋本英樹 同局書記 川原 恵

1. 審査案件

所管事務調査について

(午後1時 開会)

○野原修委員長 ただいまから建設常任委員会を開会します。

本日の委員会記録署名委員は、木村委員を指名します。

本日の案件は、所管事務調査についてです。

本件につきましては、去る3月11日の本委員会でご協議いただきました内容に基づいて、視察事項、視察先、視察日程等を委員長案としてまとめましたので提案させていただきます。

日程は、5月23日、月曜日、5月24日、火曜日、視察テーマと視察市につきましては、「上下水道事業の一元化について」熊本県荒尾市、「空家対策について」福岡県大牟田市を視察いたします。

荒尾市は、人口が約5万4,000人。こちらでは、上下水道事業が平成26年4月に組織統合され企業局を設立しています。統合と同時に下水道事業を企業会計に移行し、すでに企業会計を取り入れている水道事業と組織規模を拡大させることにより、公共性の高い事業の企業性をより一層発揮させ、経済性、効率性を高める取り組みを行っています。

次に、大牟田市は、人口が約11万9,000人。こちらでは老朽危険家屋に管理指導や解体助成制度等の対策を行い、併せて空家が老朽化して危険にならないような対策も進められています。平成25年度に民生委員らの協力のもと、市内の戸建て住宅を中心に空家の全数調査を実施し、2,853戸の空家を確認されています。これを基に、不動産や福祉・医療・法律・行政・学識経験者等の専門家で構成する大牟田市居住支援協議会を立ち上げ、具体的に空家を低家賃で提供する等、空家の活用を推

進するモデル事業に取り組まれています。このような老朽危険家屋対策と空家の有効活用との両面からの取り組みを視察します。

以上のような視察案を提案させていただきましたが、委員の皆さんいかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○野原修委員長 それでは、そのように決定します。暫時休憩します。

(午後1時4分 休憩)

(午後1時8分 再開)

○野原修委員長 再開します。それでは、本委員会の視察につきましては、以上のおり実施することといたしますので、よろしく申し上げます。

以上で、本委員会を閉会します。

(午後1時9分 閉会)

委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

建設常任委員長 野原 修

建設常任委員 木村 勝彦